

釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会

第5回 湿原学習のための学校支援ワーキンググループ

日時： 平成 29 年 8 月 3 日（木） 14：00～16：00

場所： 釧路地方合同庁舎 4階 第3会議室

----- 議 事 次 第 -----

1. 開 会
2. 議 事
 - 1) 第4回ワーキンググループ以降の取組み報告
 - 2) これからの取組予定
3. その他
4. 閉 会

----- 配布資料一覧 -----

○第5回湿原学習のための学校支援ワーキンググループ 資料

- ・ 資料1 ワーキンググループの取組み報告
 - 別紙1 2016年度にとりまとめたフィールド情報マップ
 - 別紙2 北海道釧路湖陵高等学校SSH事業「KCS基礎」における野生動物研修、釧路湿原巡検 実施要領
 - 別紙3 2016年度にWEBサイトに掲載した湿原学習の支援事例
 - ・ 資料2 これからの取組予定
 - ・ 参考資料1 釧路湖陵高等学校釧路湿原巡検アンケート回答
 - 参考資料2 自由研究の評価表及び研究発表のポスターの作り方
- 【境委員作成：第4回学校支援WG配布資料】

出席者名簿（敬称略・順不同）

< 専門家 >

所属等	氏 名
再生普及小委員会委員長（前北海道教育大学釧路校准教授）	高橋 忠一 ○
北海道教育大学釧路校 准教授	境 智洋 ○

< 学校教員 >

所属等	出席者
標茶町立標茶小学校	長山 亜由美
鶴居村立鶴居小学校	中川 道高 ○
鶴居村立下幌呂小学校	柴田 康吉 ○
釧路市立青葉小学校	武市 太一郎 ○
釧路湖陵高等学校	渡辺 理実 ○

< 学校教育行政機関等 >

機 関 名	出席者
北海道教育庁釧路教育局 教育支援課 義務教育指導班	指導主事 米谷 広美 ○
釧路市教育委員会 学校教育部 教育支援課	指導主事 松本 孝也 ○
釧路町教育委員会 教育部 指導主事室	室長 田中 敏行 ○
標茶町教育委員会 指導室	指導室長 蠣崎 浩一 ○
弟子屈町教育委員会 指導室	指導室長 須藤 光秋
鶴居村教育委員会 管理課 学校教育係	係長 新木 康司
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	所長 安田 直人

< 事務局 >

機 関 名	出席者
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	国立公園課課長補佐 桑原 靖則○ 釧路湿原自然保護官 寺内 聡○
公益財団法人北海道環境財団	事務局次長 久保田 学○ 環境教育推進課 山本 泰志○ 環境教育推進課 安田 智子○

ワーキンググループの取組み報告

1. 湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進

○フィールド情報マップのとりまとめ、WEB サイトへの掲載

- ・ 自然再生事業が行われている久著呂川において実施されたモデル授業のフィールド（中久著呂市街地上流部自然河川、中久著呂地区浸食対策事業地、湿原流入部土砂流入対策事業地）を対象に、教員へのヒアリングより得られた意見を踏まえ、フィールド情報マップとしてとりまとめ、WEB サイト（<http://kushiro-ee.jp>）に掲載。（別紙1）
- ・ 学校やビジターセンター等でのチラシ配布、教員研修講座等での学習素材の周知。

2. 自然再生の学校教育への活用促進

○モデル授業の実施

- ・ 釧路湖陵高等学校 SSH 事業における釧路湿原巡検

実施日時 : 2017 年 6 月 29 日（金）9:00～16:30

実施場所 : 達古武湖森林再生事業地および湖畔、夢が丘木道・展望台

参加者数 : 生徒 40 名、教員 5 名

指 導 : さっぽろ自然調査館 渡辺修氏、渡辺展之氏

主な内容 : 昆虫、沢の生き物、エゾシカの 3 班に分かれて調査体験

夢が丘木道および展望台における湿原植生、近年の変化等について講話
（別紙 2、参考資料 1）

- ・ 昆虫班：地表性昆虫を対象とした調査体験。自然林、人工林、草地を巡り、各環境（植生）の把握、昆虫トラップの回収を行い、それぞれの環境の昆虫相を比較。
- ・ 沢の生き物班：沢での魚類やザリガニ調査、湖畔での魚類調査を実施し、環境による魚類相について比較。
- ・ エゾシカ班：防鹿柵の内外で草本類やササ等の林床植生について調査を行いエゾシカの有無による比較を行うとともに、樹皮剥ぎの樹種選好性について調査。



3. 学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及

○教員への WG チラシ（添付資料）の配布

○教員への湿原の行事情報等の配信

○湿原学習の支援事例を WEB サイトに掲載（別紙 3）

○授業支援の実施

- ・ 標茶町立標茶小学校 5 年生の総合的な学習の時間の支援

実施日時 : 2017 年 6 月 1 日（木）13 時 15 分～15 時

実施場所 : 標茶高等学校

支援内容 : 標茶高校との事前刷り合わせ、安全管理等補助



- ・ 釧路湖陵高等学校 SSH 事業における釧路湿原巡検 事前学習

実施日時 : 2017 年 6 月 23 日（金）10 時 45 分～12 時 35 分

実施場所 : 釧路湖陵高等学校 地学教室

主な内容 : 国立公園・釧路湿原概論、自然再生事業の取組み紹介、達古武湖における課題、自然再生の取組み紹介



- ・ 鶴居村立下幌呂小学校 5 年生のフィールド学習実施場所候補の提案、案内

実施日時 : 2017 年 6 月 28 日（水）17 時～18 時 30 分

実施場所 : 鶴居村下幌呂

主な内容 : 装備の貸出、フィールドの提案、現地への案内

○教員研修講座の実施

- ・ 北海道高等学校理科学研究会 根釧支部 平成 29 年度第一回研修会

実施日時 : 2017 年 6 月 8 日（木）13 時 00 分～15 時 30 分

実施場所 : 温根内ビジターセンター
参加者数 : 高等学校教員 28 名
主な内容 : 湿原学習のための学校支援ワーキンググループの取組み紹介
生物単元での活用を想定した釧路湿原の植生遷移に係る講話
ビジターセンター展示解説を通した釧路湿原の概要



○湿原を題材とする自由研究や学習成果発表の場の活性化

教員と連携し、湿原の流域環境を題材として、能動的な学修の促進、問題を見出す力、まとめて考察する力等の育成に資するとともに、生徒の学習意欲の向上を図る仕組みづくりを目指し、湿原学習の実践校の情報収集、教員との調整を行ってきた。

今年度については、標茶町立標茶小学校と連携し、北海道教育大学境准教授の協力を得て、試行的に実施することとし、5年生の総合学習を柱として教科との関連を持たせながら学習が進められている。

《教員からの意見》

- ・子どもたちに力をつけていきたいと考えているため、積極的に連携していきたい。一連の学習過程に組み入れていければ見通しを立てやすく、4月には授業計画が必要になるため前年度から検討していけると良い。
- ・総合の学習を進める際に、課題設定、課題を深める活動、結論といった学習の段階を児童に意識させ進めていきたい。
- ・児童にこれらを意識させて学習を進めることで、発表に向けて、とりまとめる時数を減らすことにもつながる。
- ・児童の課題発見能力は現状で高いものとは言えないため、どのように課題を発見させていくかが課題。
- ・現状では、科学的にまとめていく素地がないため、理科の実験等で、まとめ方を意識させて練習させていきたい。
- ・先生方に湿原に関する予備知識がなく、湿原を題材とした学習において、自信を持って児童の指導に当たることが難しいといった実情もある。相談できる主体がいれば、教員が学習者の視点も持って子どもたちと関わっていくことができる。
- ・こうした学習の進め方、まとめ方に沿って夏休みの自由研究を行う児童が出てくることも期待したい。
- ・遠足や宿泊研修でも湿地環境に触れる機会を持たせるとともに、防災の授業、理科や国語等の教科とも関連づけながら総合につなげていきたい。
- ・総合の発表では、提案のあったパネルへのとりまとめを想定している。とりまとめの形が決まっていることで、自分の考えに整理をつけやすく、児童間で意見を出し合いながらとりまとめ、発表する力を養うという点でも効果的と考えている。机があれば会場づくりが可能なことも良い。
- ・児童の発表会后、とりまとめたパネルを学外で展示を行う提案は積極的に検討していきたい。

釧路湿原流域のフィールド情報マップ

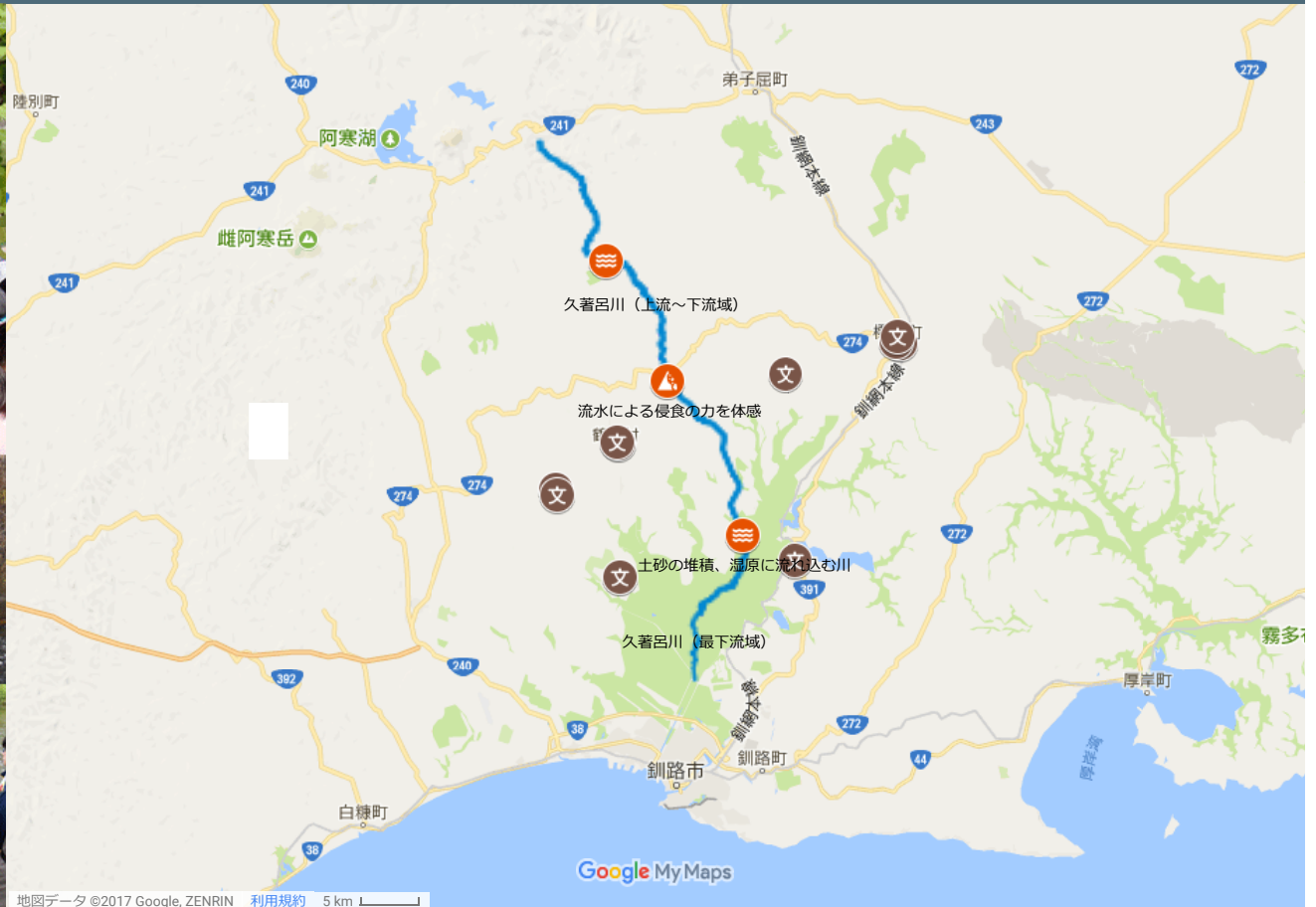
湿原周辺の川や丘陵地も含めた「釧路湿原流域」で、フィールド学習ができる場所を実践例と合わせて紹介していきます。マップ上部の  をクリックし、フィールドの概要、フィールド詳細ページをご覧ください。

学習に使えるフィールドを紹介します

 フィールド情報マップ ★



- 蛇行河川で水に触れる体験
- 流水による侵食の力を体感
- 土砂の堆積
- 問い合わせ
- このサイトについて



釧路湿原流域のフィールド情報マップ

蛇行河川で水に触れる体験

- 蛇行河川で水に触れる体験
- 流水による侵食の力を体感
- 土砂の堆積
- 問い合わせ
- このサイトについて



❁ フィールドの様子

(上流側を見た景観)



❁ フィールドの様子

(下流側を見た景観)



❁フィールドの様子

(クリックすると拡大表示されます)

❁フィールドに関する情報

❖フィールドの特徴

自然の状態に近い蛇行河川で、川に入っの活動、川原の石の裏に付いている水生生物の観察なども可能です。(要安全対策)

❖雨天時の注意点

増水の可能性があるため、延期、中止等が必要です。当日、降雨がない場合でも前日までの雨量によっては増水している可能性があるため、注意が必要です。

❖推奨年齢・人数・時期

安全管理の面から、小学校高学年以上を推奨します。川原は比較的広く40名程度は余裕を持って入れますが、川に入っの活動は、安全管理を考えると20名程度から、本格的に寒くなる前の9月中旬頃を推奨します。

❖アクセス・周辺の利用可能施設



鶴居村中久著路市街地(久著路簡易郵便局があるT字路(信す。途中から砂利道となり、分岐を左前方に進み、川を左手から進むと、左手に川原に下りることができる場所があり、本フィールド)

【注意点】
・大型バスは切り替えしができないため進入できません。中型は駐車ができます。

※注) 農家の方が生活道として使用されており、路上へ駐車はできません。

本フィールドから車で10分程度(国道274号から10分程度)の利用することができます。使用には、鶴居村役場(住民生活課)



左記マップの  をクリックし、フィールドまでの目印、お

❁フィールドでの活動例

- ・河川には様々な水の流れ(速さ、向き)があることの実感を促す活動
- ・川底には大きさが違う様々な石、土砂が溜まっていることの実感を促す活動
- ・河川に堆積した石をすみか(えさば)にする多様な生き物がいること、見られる生き物によって川の環境を推し量ること

❁関連づけられる教科単元

❖小学校

◆中学校

理科2分野 自然と人間

◆高等学校

生物基礎 生物の多様性と生態系 生態系とその保全 / 生物 生態と環境 生態系と生物多様性

✿鶴居村立鶴居小学校5年生理科での実践例(2016年実施)

◆計画、ワークシート等

単元指導計画  PDF ファイル / 郊外学習指導計画(下流での活動を含む)  PDF ファイル / フィールド学習ワークシ

◆実施報告

実践内容・子ども達の感想等(下流での活動を含む)  PDF ファイル

✿学校での実践において支援可能な内容

◆授業実施前

授業計画作成における各種支援(各種情報の提供、現地への事前案内、関係部署・専門家との調整等)

◆授業実施時

専門家による解説・活動の支援、必要機材、安全対策資材等の貸出

✿本フィールドを活用して実施してきた教員研修講座

2015年10月25日開催講座  PDF ファイル / 2015年10月26日開催講座  PDF ファイル

✿問い合わせ先

釧路湿原自然再生協議会 再生普及行動計画オフィス

〒084-0922 釧路市北斗2-2101 環境省釧路湿原野生生物保護センター内

TEL : (0154) 56-4646 FAX: (0154) 56-2267

e-mail: wanda☆heco-spc.or.jp (☆を@に代えてご連絡ください)

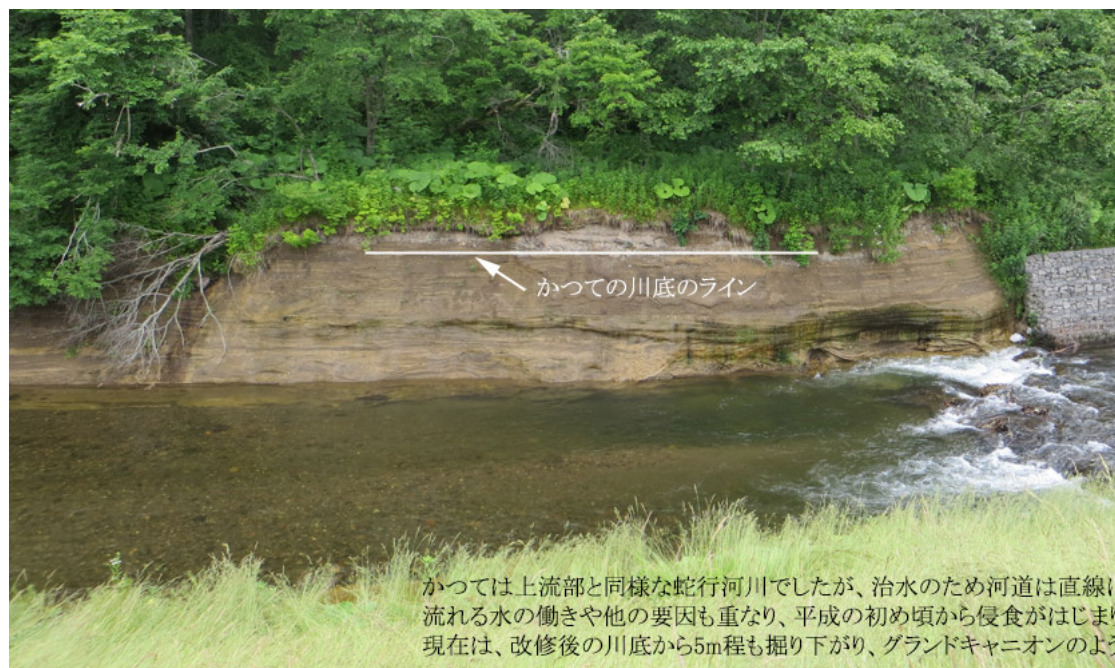
釧路湿原流域のフィールド情報マップ

流水による侵食の力を体感

- 蛇行河川で水に触れる体験
- 流水による侵食の力を体感
- 土砂の堆積
- 問い合わせ
- このサイトについて

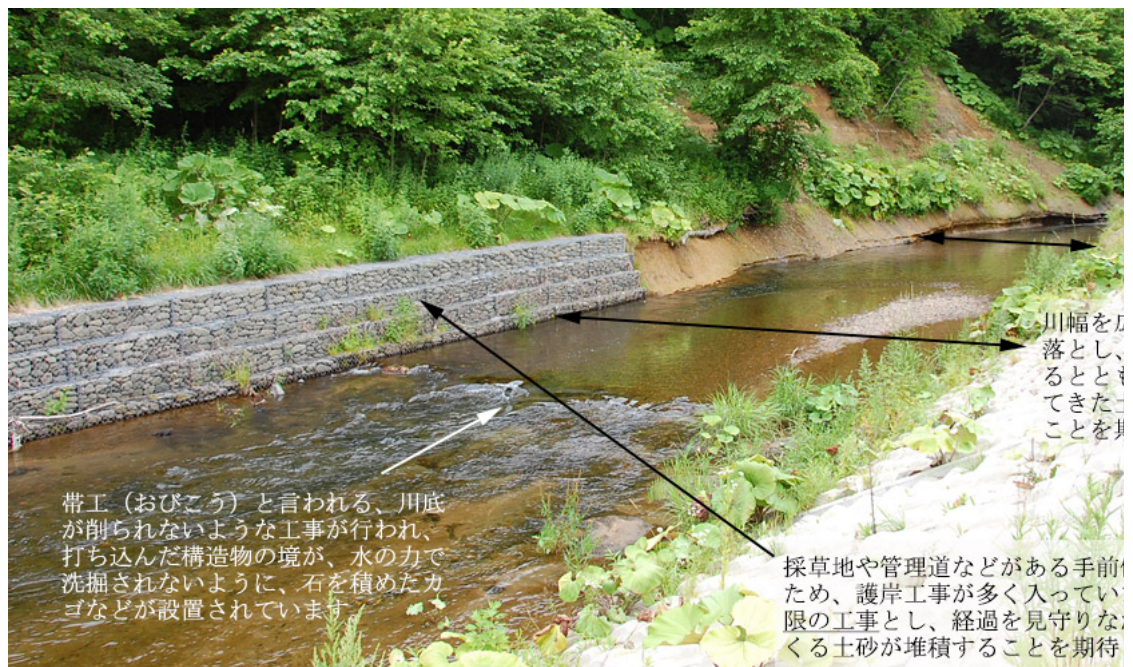


* フィールドのみどころ



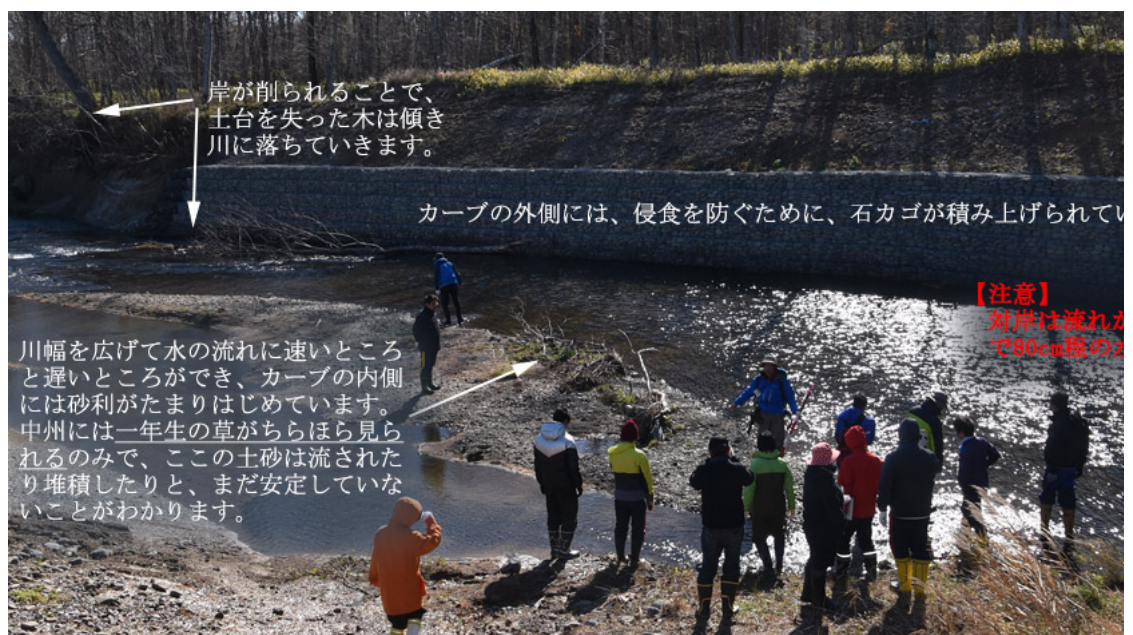
* フィールドの様子 (深く削られた川の様子)

(川岸の管理道から対岸を見た様子)



❁ フィールドの様子 (侵食を止める試み)

(川岸の管理道から対岸を見た様子)



❁ フィールドの様子 (出来始めた中州)

(川岸の管理道から見下ろした様子)



❁フィールドの様子

(クリックすると拡大表示されます)

❁フィールドに関する情報

❖フィールドの特徴

河川改修が行われた河川で、基本的に岸にある道上から対岸の様子を観察します。

❖雨天時の注意点

道上から観察するため、荒天の場合を除き川の様子を観察することは可能ですが、当日晴れている場合でも、前日までかなりの降雨があった場合は注意が必要です。

❖推奨年齢・人数・時期

道上から観察しますが、安全管理や状況の理解度等を考えると、小学校高学年以上を推奨します。道のどこからでも対岸の様子を観察できるため、引率者が管理できていない時期であれば、春から秋まで活動は可能ですが、雪解け水が引いた後は侵食の状況がよく観察できるため、6月頃がお勧めです。(要工事スケジュールの

❖アクセス・周辺の利用可能施設



鶴居村中久著呂市街地(久著呂簡易郵便局があるT字路(信

【注意点】

・大型バスの進入、転回も可能ですが、降雨などにより、道が
※注) 基本的に関係者以外は立ち入り禁止です。時期によ
入りはご遠慮ください。

本フィールドから車で10分程度の場所に、中久著路コミュニ
使用には、鶴居村役場(住民生活課 tel0154-64-2113)に事



左記マップの  をクリックし、フィールドの位置、拠点J

❁フィールドでの活動例

- ・対岸の様子を観察しながら歩き、これまで見たことがある川と違うところ、気になる場所などを探す活動
- ・昔の蛇行河川の跡を探す活動(対岸の崖の中で積み重なった角が取れた石がある場所、河畔林の大きさが違うと

- ・侵食を止める工夫がされていると思う箇所を探す活動
- ・上流部の川の様子と違うところを探す活動(※上流のフィールドで活動を行った場合)
- ・中州に降りて、堆積の状況、石の裏について水生生物の様子を観察する活動(※高校生以上、要安全管理)
- ・川の下から侵食の様子、流れの速さの違いを体感する活動(※高校生以上、胴長必須、要安全管理)

✿関連づけられる教科単元

◆小学校

理科5学年 流れる水のはたらき / 理科6学年 いきものと環境

◆中学校

理科2分野 自然と人間

◆高等学校

生物基礎 生物の多様性と生態系 生態系とその保全 / 生物 生態と環境 生態系と生物多様性

✿釧路湖陵高等学校1年生理数科での実践例(2016年実施)

◆計画

野生動物研修、釧路湿原巡検 実施要領  PDF ファイル

◆実施報告

実施内容(本フィールドでの活動のみ抜粋版)  PDF ファイル / 実施内容(全行程の記録)  PDF ファイル

✿鶴居村立鶴居小学校5年生理科での実践例(2016年実施)

◆計画、ワークシート等

単元指導計画  PDF ファイル / 郊外学習指導計画(上流部での活動を含む)  PDF ファイル / フィールド学習ワーク

◆実施報告

実践内容・子ども達の感想等(上両部での活動を含む)  PDF ファイル

✿学校での実践において支援可能な内容

◆授業実施前

授業計画作成における各種支援(各種情報の提供、現地への事前案内、関係部署・専門家との調整等)

◆授業実施時

専門家による解説・活動の支援、必要機材、安全対策資材等の貸出

✿本フィールドを活用して実施してきた教員研修講座

2015年10月25日開催講座  PDF ファイル / 2015年10月26日開催講座  PDF ファイル / 2016年7月7日開催講座  PDF ファイル

✿問い合わせ先

釧路湿原自然再生協議会 再生普及行動計画オフィス

〒084-0922 釧路市北斗2-2101 環境省釧路湿原野生生物保護センター内

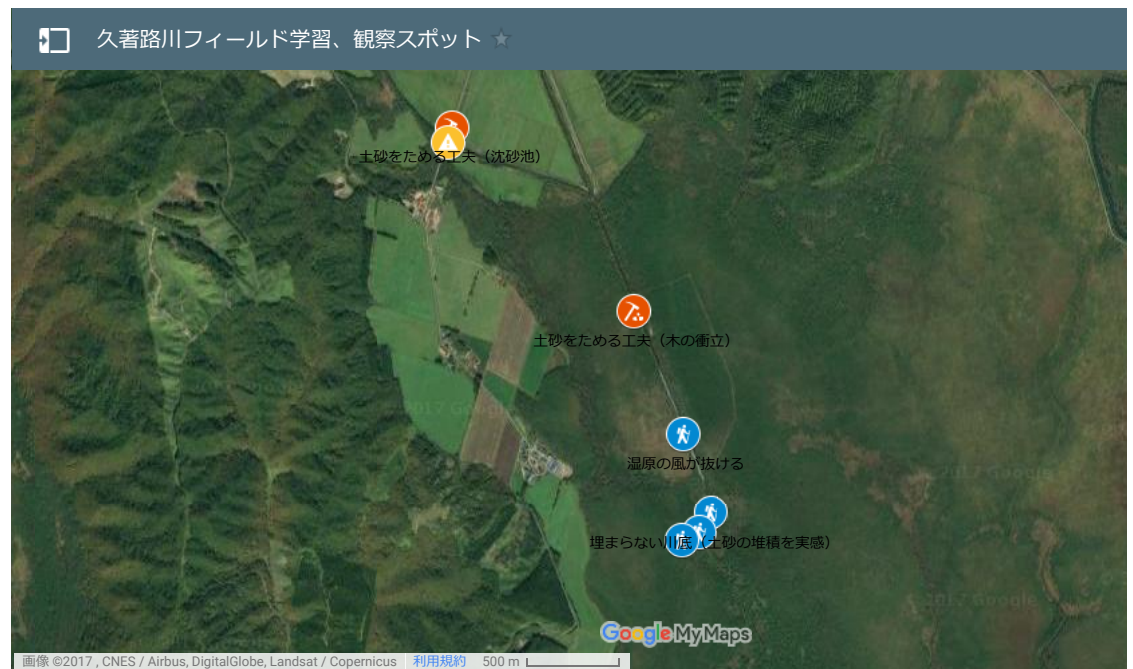
TEL : (0154) 56-4646 FAX : (0154) 56-2267

e-mail: wanda☆heco-spc.or.jp (☆を@に代えてご連絡ください)

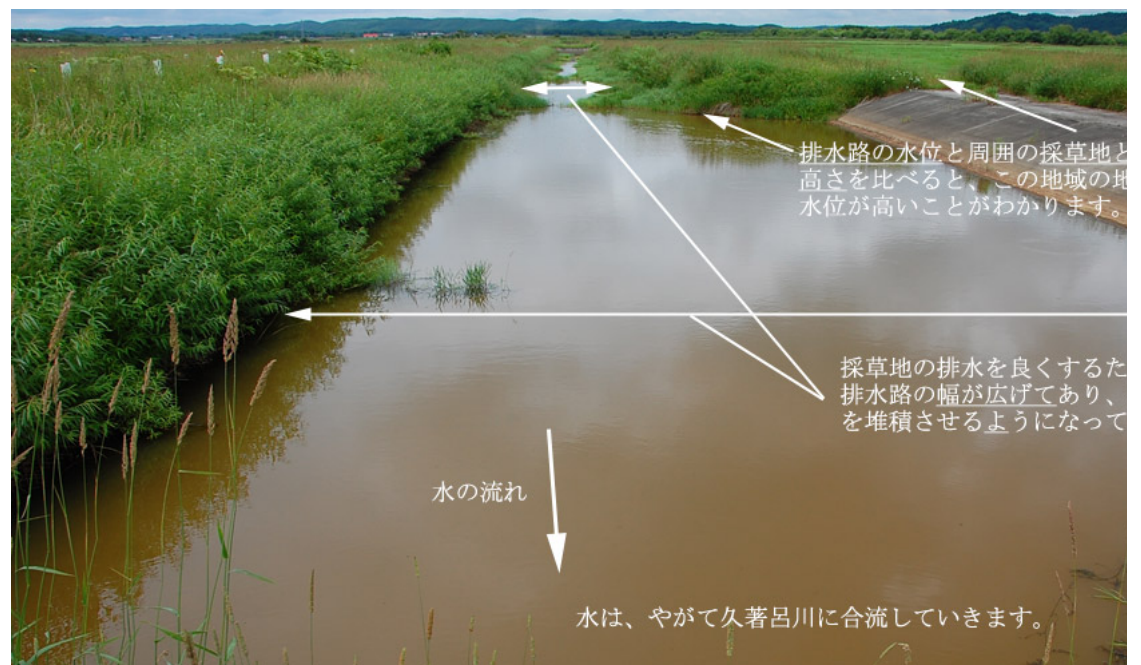
釧路湿原流域のフィールド情報マップ

土砂の堆積、湿原に流れ込む川

- 蛇行河川で水に触れる体験
- 流水による侵食の力を体感
- 土砂の堆積
- 問い合わせ
- このサイトについて



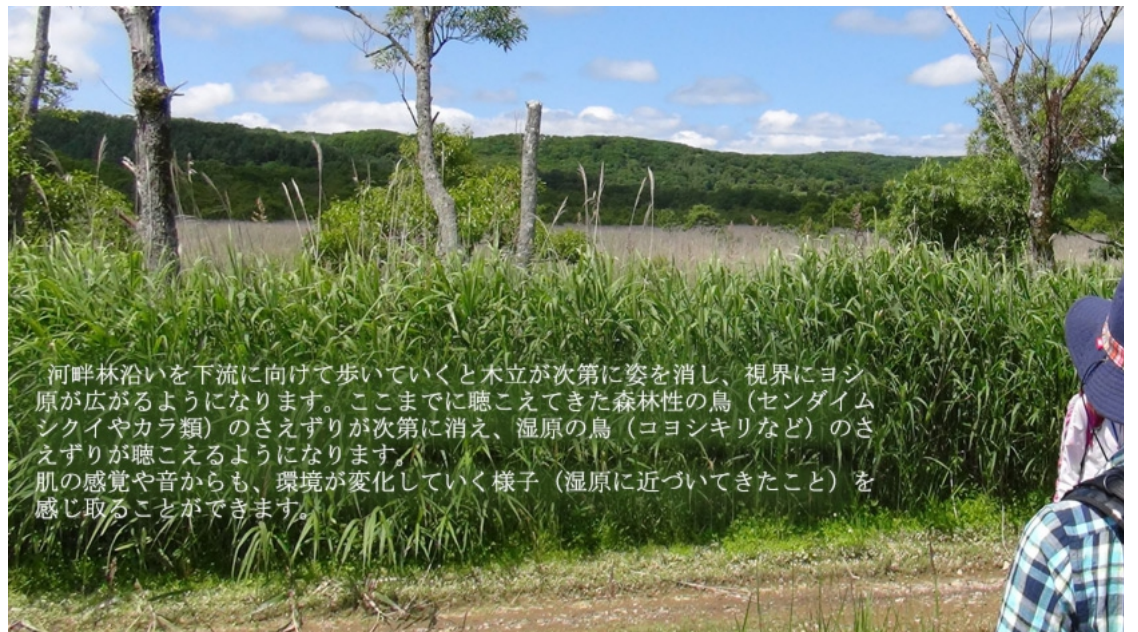
＊フィールドのみどころ



＊フィールドの様子（土砂をためる工夫：沈砂池）



❁ フィールドの様子(土砂をためる工夫:木のついたて(人工ケルミ))



❁ フィールドの様子(湿原の風が抜ける)



❁ フィールドの様子 (埋まらない川底: 土砂の堆積を実感)



❁ フィールドの様子 (枝分かれて細くなる川)



❁ フィールドの様子（消える支流）



❁ フィールドの様子

（クリックすると拡大表示されます）

❁ フィールドに関する情報

❖ フィールドの特徴

上流から流れてきた水、採草地から流れてきた水などが合流し、直線の河道を抜けて湿原内に流れ込んでいく場所です。湿原に流れ込む土砂をとめるための試み、（しみ込んでいく）水を体感できる場所です。氾濫源となるため、増水には最新の注意が必要です。また、観察スポットが離れているため、相応の時間を確保することも必要です。

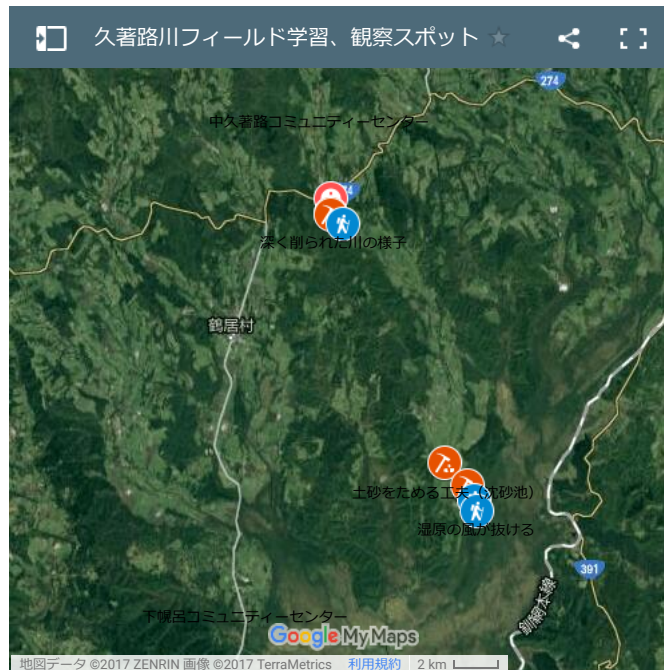
❖ 雨天時の注意点

増水の可能性があるため、延期、中止等が必要です。当日、降雨がない場合でも前日までの雨量によっては増水している可能性があり、また、道がぬかるんでいる場合があります。

❖ 推奨年齢・人数・時期

安全管理や状況の理解度等を考えると、小学校高学年以上で20名以内の人数での活動を推奨します。蛇行が始まるスポットから先は、安全管理の面から高校生以上が推奨されます。

◆アクセス・周辺の利用可能施設



鶴居村市街地から下久著呂方面（南東方面）に向かって車で

【注意点】

・大型バスは進入できません。中型バスでは木のついたて（入り、道がぬかるんでいる場合は道の状況に合わせた判断が必要）を推奨します。

※注）基本的に関係者以外は立ち入り禁止です。時期によ

い。
本フィールドから車で30分程度の場所に、下幌呂コミュニティ等に利用することができます。使用には、鶴居村役場（住民生



左記マップの  をクリックし、フィールドの位置、拠点

✿フィールドでの活動例

- ・土砂を堆積させるための様々な工夫を知る活動
- ・川岸の道を湿原に下流に向かって歩きながら、道の上の土砂の変化、周りの環境の変化を見つける活動
- ・川の中に堆積する土砂、道路に堆積する土砂を比べる活動（※要大人による川底の土砂採取）
- ・上流部の侵食箇所で見られた土砂と川底の土砂を比べる活動（※同上および上流のフィールドで活動を行った場
- ・川の中に入り足が埋まらないことを体感する活動（※高校生以上、胴長必須、要安全管理）
- ・久著呂川の支流沿いに歩き、堆積している土砂の粒の大きさを調べる活動（※高校生以上推奨、長靴必須、要安
- ・支流が消える場所の環境、土砂の粒の大きさを観察する活動（※高校生以上推奨、長靴必須、要安全管理）

✿関連づけられる教科単元

◆小学校

理科5学年 流れる水のはたらき / 理科6学年 いきものと環境

◆中学校

理科2分野 自然と人間

◆高等学校

生物基礎 生物の多様性と生態系 生態系とその保全 / 生物 生態と環境 生態系と生物多様性

✿釧路湖陵高等学校1年生理数科での実践例（2016年実施）

◆計画

野生動物研修、釧路湿原巡検 実施要領  PDF ファイル

◆実施報告

実施内容（本フィールドでの活動のみ抜粋版）  PDF ファイル / 実施内容（全行程の記録）  PDF ファイル

✿学校での実践において支援可能な内容

◆授業実施前

授業計画作成における各種支援（各種情報の提供、現地への事前案内、関係部署・専門家との調整等）

◆授業実施時

専門家による解説・活動の支援、必要機材、安全対策資材等の貸出

✿本フィールドを活用して実施してきた教員研修講座

2010年7月1日開催講座  PDF ファイル / 2016年7月7日開催講座  PDF ファイル

✿問い合わせ先

釧路湿原自然再生協議会 再生普及行動計画オフィス

〒084-0922 釧路市北斗2-2101 環境省釧路湿原野生生物保護センター内

TEL : (0154) 56-4646 FAX: (0154) 56-2267

e-mail: wanda☆heco-spc.or.jp （☆を@に代えてご連絡ください）

Copyright 2017 釧路湿原自然再生協議会 再生普及小委員会 湿原学習のための学校支援ワーキンググループ. All Rights Reserved.

北海道釧路湖陵高等学校SSH事業「KCS基礎」における
釧路湿原巡検 実施要領

1 目 的

釧路湿原は、北海道東部を代表する自然環境の一つである。北海道釧路湖陵高等学校SSH科目「KCS基礎」において、湿原環境の保全を目的とした環境調査の手法を学び、環境科学における科学的な探究手法を研修するとともに、自らが生まれ育った自然環境を科学的に理解する機会とすることを目的とする。

2 研修日時

(1) 事前学習

日 時 平成29年6月23日（金）
時 間 10:45～12:35（3, 4校時）
場 所 北海道釧路湖陵高等学校 地学教室
講 師 環境省釧路湿原自然保護官事務所 自然保護官 寺内 聡 氏

(2) 釧路湿原巡検

日 時 平成29年6月29日（木）
時 間 9:00～16:00
場 所 達古武湖周辺（釧路町達古武）
講 師 環境省釧路自然環境事務所 自然再生企画官 神馬 基夫 氏
環境省釧路湿原自然保護官事務所 自然保護官 寺内 聡 氏
さっぽろ自然調査館 渡邊 修 氏、渡辺 展之 氏

日 程

8:00 釧路湖陵高校集合 出発（移動：大型バス1台）
9:00 研修開始 再生事業に関する全体レクチャー
9:30～12:00
グループごとのフィールドワーク：午前（昆虫、沢の生物、エゾシカ）
（休憩 12:00～12:40）
12:40～14:10
グループごとのフィールドワーク：午後（昆虫、沢の生物、エゾシカ）
14:20～16:00
夢が丘展望台での研修
16:00 研修終了（移動：大型バス1台）
17:00 釧路湖陵高校着 解散

3 参加生徒 理数科1学年 40名（男子24名、女子16名）

4 運営協力

釧路湿原自然再生協議会 再生普及行動計画オフィス
（受託団体：公益財団法人北海道環境財団）

5 引率教員（北海道釧路湖陵高等学校）

SSH推進部 加藤 知有（担任） 岩田 昭夫 渡邊 理実

釧路湿原巡検と KCS 基礎について

北海道東部の代表的な自然環境の一つである釧路湿原でのフィールドワークを通じて、自らが生まれ育った地域の自然に触れるとともに、野外調査の手法を研修する。さらに、得られたデータをまとめ、統計的な処理をするために必要な Excel の技術、口頭発表のための Power Point の技術を習得することを目的とする。年度末に行う英語の口頭発表に向けた基礎的な技能を身につける。

1. 釧路湿原巡検

(1) 事前学習

平成29年6月23日（金） 10:45～12:35（3, 4校時）

(2) 釧路湿原巡検

平成29年6月29日（木） 9:00～16:00

達古武湖周辺（釧路町達古武）

グループごとのフィールドワーク：午前（昆虫、沢の生物、エゾシカ）

夢が丘展望台での研修

2. KCS 基礎

(1) 事前学習

6月13日（火） 6校時 釧路湿原に関する調べ学習（Wordにまとめる）

6月16日（金） 5,6校時 釧路湿原に関する調べ学習の結果を Power Point

（6月23日 金 事前学習）

（6月29日 木 釧路湿原巡検）

6月30日（金） 5,6校時 調査方法、データの整理

7月 4日（火） 6校時 データの整理、入力（Excel）

7月 7日（金） 5,6校時 データの整理、入力、統計処理（Excel）

7月21日（金） 5,6校時 プレゼンテーションの作成（Power Point）

7月25日（火） 5校時 発表準備

6校時 釧路湿原巡検発表会

- ・プレゼンテーション（Power Point）と発表原稿（Word）を作成し、提出する（全員）。

（共有フォルダ内に保存）

ファイル名 Power Point 「出席番号 釧路湿原巡検 氏名」

Word 「出席番号 発表原稿 氏名」

- ・釧路湿原巡検発表会

7月25日（火） 6校時 地学教室

各グループ（エゾシカ・森・沢）から、代表者による発表

口頭発表（発表10分 質疑応答5分）

湿原学習の支援事例

✿出前授業等の実施

- 出前講座等の実施
- フィールド学習の支援
- モデル授業としての支援
- 問い合わせ
- このサイトについて

◆釧路町立遠矢小学校4年生(2016年7月)

- ・支援内容:児童グループへの質疑対応
- ・実施場所:同校
- ・参加児童:6名(釧路湿原をテーマとする児童グループ)
- ・主な内容:調べ学習で生じた釧路湿原の自然や保護活動に関する質疑

◆標茶町立標茶小学校5年生(2016年12月)



- ・支援内容:講師提案・調整、各テーマグループへのレクチャー
- ・実施場所:同校
- ・参加児童:39名
- ・主な内容:6つのテーマグループに専門家がつき児童へのレクチャー、質疑

◆標茶町立標茶小学校5年生(2017年1月)



- ・支援内容:講師提案・調整、各テーマグループへのコメントバック
- ・実施場所:同校
- ・参加児童:39名
- ・主な内容:児童の学習成果発表の内容について、各専門家からのコメントバック

◆釧路町立遠矢小学校5年生(2017年1月)

- ・支援内容:児童への質疑対応
- ・実施場所:同校
- ・主な内容:調べ学習で生じた釧路湿原の希少種や外来種に関する質疑



✿問い合わせ先

釧路湿原自然再生協議会 再生普及行動計画オフィス

〒084-0922 釧路市北斗2-2101 環境省釧路湿原野生生物保護センター内
TEL : (0154) 56-4646 FAX: (0154) 56-2267
e-mail: wanda☆heco-spc.or.jp (☆を@に代えてご連絡ください)

湿原学習の支援事例

- 出前講座等の実施
- フィールド学習の支援
- モデル授業としての支援
- 問い合わせ
- このサイトについて

＊フィールド学習の支援

◆釧路町立遠矢小学校3年生(2016年6月)



- ・支援内容: 講師紹介・調整、フィールド学習におけるレクチャー、安全管理
- ・実施場所: 同校および「どんぐりの森公園」
- ・参加児童: 32名
- ・主な内容: フィールドでのレクチャー、身近な環境と湿原とのつながり講話

◆釧路市立鳥取小学校3年生(2016年7月)



- ・支援内容: プログラム案の提案・調整、、フィールド学習におけるレクチャー、安全管理
- ・実施場所: 北斗駐車場および温根内木道
- ・参加児童: 62名
- ・主な内容: 北斗駐車場でのレクチャー、温根内木道でのレクチャー

◆釧路町立富原小学校4年生(2016年8月)



- ・支援内容: 施設内でのレクチャー
- ・実施場所: 環境省釧路湿原野生生物保護センター
- ・参加児童: 87名
- ・主な内容: 「地域の自然を見つめよう」をテーマに施設内での釧路湿原国立公園と希少野生生物等に係るレクチャー

◆鶴居村立鶴居小学校4年生(2016年10月)



- ・支援内容: 施設内でのレクチャー
- ・実施場所: 環境省釧路湿原野生生物保護センター
- ・参加生徒: 15名
- ・主な内容: 「鶴居の自慢」をテーマに施設内での釧路湿原国立公園と希少野生生物等に係るレクチャー

◆阿寒高等学校1年生地域巡検(2016年10月)



- ・支援内容: プログラム案の提案・調整、、フィールド学習におけるレクチャー、安全管理
- ・実施場所: 温根内木道および久著呂川河道安定化対策事業地(中久著呂地区)
- ・参加生徒: 20名
- ・主な内容: 温根内木道でのレクチャー、再生事業地の解説、案内

湿原学習の支援事例

✿モデル授業としての支援

○ 出前講座等の実施

○ フィールド学習の支援

○ モデル授業としての支援

○ 問い合わせ

○ このサイトについて

釧路湿原自然再生事業地を活用したフィールド学習のプログラム開発および実践については、モデル授業と位置づけ、学校支援ワーキンググループ事務局と共同で学習の企画、実施を進めました。

◆鶴居村立鶴居小学校5年生(2016年7月)



- ・支援内容:フィールド学習における活動案の提案、予行の実施、実施活動の検討、フィールド学習実施時におけるレクチャー、安全管理
- ・実施場所:鶴居村中久著呂における自然河川部および河道安定化対策事業地(大規模侵食箇所)
- ・参加児童:14名
- ・主な内容:蛇行河川における浸食と堆積の状況、流速等の観察、河道安定化対策事業地の浸食状況の観察、災害(浸食)を防ぐ工夫の観察

実施内容詳細

フィールド学習実施場所(自然河川部)

フィールド学習実施場所(大規模侵食箇所)

◆釧路湖陵高等学校地域巡検予察(2016年7月)



- ・支援内容:フィールド学習における活動案の提案、予察実施に係る各種調整、予行の実施
- ・実施場所:久著呂川の土砂対策事業地(湿原流入部)及び河道安定化対策事業地(大規模侵食箇所)、赤沼
- ・参加者数:教員3名
- ・主な内容:フィールドの踏査、使用施設の下見、所要時間の確認等

◆釧路湖陵高等学校 理数科1年生地域巡検(2016年8月)



- ・支援内容:フィールド学習における活動案の提案、講師調整、資材等の貸出、フィールド学習実施時におけるレクチャー、安全管理
- ・実施場所:赤沼、久著呂川の土砂対策事業地(湿原流入部)及び河道安定化対策事業地(大規模侵食箇所)
- ・参加者数:生徒37名、教員9名
- ・主な内容:赤沼でのフィールドワーク、久著呂川湿原流入部における人工ケルミ、河床への土砂堆積の状況、湿原へ流入する河川の状況観察、鶴居村中久著呂における大規模侵食箇所の観察

実施内容詳細

フィールド学習実施場所(湿原流入部)

フィールド学習実施場所(大規模侵食箇所)

これからの取組み予定

1. 湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進

○フィールド情報マップの作成

- ・達古武地域の再生事業地、周辺フィールドを対象として、フィールドの概要、学習可能な内容、釧路湖陵高等学校等のモデル授業、教員研修講座での活用事例をとりまとめ、昨年度作成したフィールド情報マップ（kushiro-ee.jp/fieldmap/）に情報を追加する。

2. 自然再生の学校教育への活用促進

○モデル授業の実施

- ・標茶町立標茶小学校におけるフィールド学習の支援

実施日時 : 2017年9月5日（火）午前中を予定
 実施場所 : 二本松展望台、久著呂川浸食対策事業地（中久著呂川）
 対象 : 5年生2クラス55名、教員数名を予定
 主な内容 : 湿原展望地からの湿原環境の観察
 湿原を流れる河川の観察
 流水による河岸・河床の浸食状況の観察、背景や対策の取組み等の学習

- ・釧路町立昆布森中学校におけるフィールド学習の支援

実施日時 : 2017年10月17日（火）午前中を予定
 実施場所 : 達古武地区森林再生事業地
 対象 : 全校生徒25名、教員10名程度を予定
 主な内容 : 再生事業に係る講話、調査体験プログラム等

3. 学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及

○教員への湿原の行事情報等の配信

○湿原学習の支援事例をWEBサイトに掲載

○教員研修の実施

- ・体感！釧路湿原～理科・社会科の視点から～（釧路教育研究センター共催講座）

実施日時 : 2017年8月30日（水）9時～15時30分
 実施場所 : キラコタン岬、温根内ビジターセンター
 参加対象 : 小学校、中学校、高等学校教員15名程度を予定
 主な内容 : キラコタン岬でのフィールドワーク
 （湿原植生の遷移、山砂の流入状況の観察、講話）
 解説（近年の湿原植生の変化と要因、人の暮らしと共存）

- ・釧路町教育研究所理科部会第2回研修会

実施日時 : 2017年9月11日（月）14時～16時

実施場所 : 達古武湖、達古武地区森林再生事業地
参加対象 : 同部会参加教員 10 名程度を予定
主な内容 : 再生事業に係る講話、ヒシの観察
森林再生事業地を活用した学習プログラムの紹介

○湿原を題材とする自由研究や学習成果発表の場の活性化

標茶町立標茶小学校と連携し、教員へのヒアリングを通して児童の学習状況等を把握するとともに、必要に応じて授業の支援を行う。また、学習発表会を専門家等と訪問し、評価表に基づいて児童にフィードバックを行う。さらに、ビジターセンター等での児童の発表資料の企画展示を検討し、これら一連の取組みの成果と課題をとりまとめる。

○効果的な情報発信の方針の検討

学校支援ワーキンググループの取組み、学習資料等は WEB サイトにとりまとめ、メールニュース、チラシを活用し、様々な機会を捉えて教員への広報を図ってきた。

WEB サイトの開設は、前身の環境教育ワーキンググループ設置の際に行い、釧路湿原を題材とした実践に係る多様な情報を蓄積してきた。一方で、過去の掲載情報については、更新や整理が必要なものが生じており、また、湿原学習の支援事例、自由研究や学習成果発表の場の活性化に係る実践例や関連資料など、教員のニーズを捉えた効果的な情報発信が求められる素材も蓄積してきた。

これらのことから、WEB サイトおよび紙媒体による効果的な情報の見せ方、掲載すべき情報の検討等を今後行っていくこととする。